

2021年度 行事報告

今年度も観察会はすべて中止となった。年度初め、ワクチン接種が優先順で始まっていたが、まだまだ見通しが立たない状態だったことに加え、会員の年齢層にはひらきがあり、接種の有無や回数にばらつきがでること、接種後も感染しないことはないこと、そして、やはり同定会での密の回避や雨天時の対策がむずかしかったためである。

しかし昨年同様スライド会は年末まで決定保留となり、秋にはやや状況が落ち着いていたことから、感染症対策を徹底することとして、開催を決定した。約500名収容可能な会場を事前確保、開催は半数以下で使用する条件があった。当日はマスク着用、検温、行動の把握、万が一に備えて濃厚接触がわかるような記録もとることになった。ドアは常時開放、昼食は黙食である。

お正月にむかい、さらなる新型コロナウイルスが登場、じわじわと第6波が到来しつつあったが、それでも参加者は60名ほどで、適度な距離を保ちながらも、久しぶりに発表や交流を行えたことは嬉しいかぎりであった。

【第29回スライド会】

日時：2022年1月9日（日）
場所：千葉市文化センター アートホール
参加者：60名（大人55名、子供5名）

スライド発表（発表順）

- ・吹春俊光：2020年に千葉でおきたきのこ中毒の原因菌など
- ・須賀良行：2020・2021年のキノコ
- ・中島淳志：きのこ界のCinderella ～データマイニングで挑むコウヤクタケ類
- ・石井 遥：きのこに関する曲：
 - 1) おいしいきのこ毒きのこ

- 2) 破壊の天使ドクツルタケ
- 3) 殺虫きのこ冬虫夏草
- 4) 組曲 光るキノコたち

[ツキヨタケ/シイノトモシビタケ/
ヤコウタケ/エナシラッシタケ]

- ・金川泰三：4～5歳のキノコ観察のススメ
- ・小倉豊史：2021年 採集したクリフウセンタケ・オオツガタケと道の駅で購入したツガタケの外観の比較
- ・木下裕美：闘え！地球を救うちびっこ菌士『なめこ王子がやってきた』
- ・前川啓二：きのこことSDGs
- ・大作晃一：ツキヨタケ発光の8K タイムラプス撮影

小物展示コーナー

- ・孢子画・ムラサキヤマドリタケの布作品3点・きのこ編みぐるみ・冬虫夏草標本、など

